

2024年8月27日

川崎汽船株式会社
株式会社商船三井
日本郵船株式会社
三菱造船株式会社
今治造船株式会社
ジャパン マリンユナイテッド株式会社
日本シッパード株式会社

2028年以降の国際間大規模液化CO₂海上輸送の実現に向けて 液化CO₂輸送船の標準仕様・標準船型確立に向けた共同検討を開始

- ◆ 国際間大規模液化CO₂海上輸送の実現に向けて、川崎汽船、商船三井、日本郵船、三菱造船、今治造船、ジャパン マリンユナイテッド、日本シッパードは、液化CO₂輸送船の標準仕様・標準船型の確立に向けた共同検討を開始
- ◆ 将来は、アンモニア燃料等脱炭素技術を活用した新燃料船の設計・開発・建造についての共同検討を行うことも視野

川崎汽船株式会社（社長：明珍 幸一、本社：東京都千代田区）、株式会社商船三井（社長：橋本 剛、本社：東京都港区）、日本郵船株式会社（社長：曾我 貴也、本社：東京都千代田区）の3社は、この度、三菱重工グループの三菱造船株式会社（社長：上田 伸、本社：東京都港区）、今治造船株式会社（社長：檜垣 幸人、本社：愛媛県今治市）、ジャパン マリンユナイテッド株式会社（社長：灘 信之、本社：神奈川県横浜市）、ならびに今治造船とJMUの共同営業設計会社である日本シッパード株式会社（社長：檜垣 清志、本社：東京都千代田区）と液化CO₂輸送船（LCO₂輸送船）の標準仕様・標準船型確立に向けた共同検討に着手いたしました。

国内で回収したCO₂を貯留地に向け海上輸送する各種CCS（Carbon dioxide Capture and Storage）プロジェクトにおいては、今後、LCO₂輸送船の需要拡大が見込まれることから、本邦内で安定的にLCO₂輸送船を建造、供給し、CCSバリューチェーンの実現と経済性向上を図る必要があります。このため、上記7社は、LCO₂輸送船の標準仕様・標準船型の確立や建造サプライチェーンの確立が重要な課題であるとの共通認識の下、共同検討を行うことになったものです。

本検討は、LCO₂輸送船を対象に進め、国内の他造船所での建造も可能にすることを目指します。また更なる展開として、LCO₂輸送船のみならず実用化が期待される脱炭素技術（アンモニア燃料等）を活用した新燃料船についても、同じ課題認識を共有する他造船所を含め、業界関係者と広く連携する枠組みの構築など、業界一丸となって脱炭素社会の更なる進展に貢献していきたいと考えています。

以上